（令和７年４月）

工事費内訳書作成要領

１　工事費内訳書は次の場合に作成し、提出してください。

①　**条件付き一般競争入札**に参加する場合

②　**通常型指名競争入札**に参加する場合

③　**見積合わせ（※）**に参加する場合

（※）特命随意契約を除く、設計金額１００万円以上予定価格４００万円以下の見積合わせ

上記の競争入札等に参加する場合、あらかじめ工事費内訳書を作成し、入札（見積）書の提出時に提出する必要があります（電子入札システムにより入札を行う場合は、入札書と一緒に送付することとなりますので注意してください。）

このことは、入札公告及び入札説明書（通常型指名競争入札及び見積合わせの場合は、指名通知時等に配付する資料）にも記載しております。

２　工事費内訳書のデータを作成するときは、次のものを使用してください。

⑴　工事費内訳書は、マイクロソフト社のワード若しくはエクセル又はアドビシステムズ社のアクロバット（ＰＤＦ作成ツール）により作成し、容量は３メガバイト以下としてください。ただし、本局が他の作成ツールを指定する場合には、これに従ってください。

⑵　工事費内訳書は、ＬＺＨ又はＺＩＰ形式に限り圧縮することを認めるものとし、ファイル名に半角の「&」を使用すること及び自己解凍形式によるファイル圧縮を行うことはいずれもしてはいけません。また、ファイル名に「．ｅｘｅ」という拡張子が付くＥＸＥファイルを添付してはいけません。

３　工事費内訳書は、次のとおり作成してください。

⑴　記載事項は次のとおりです。（工事内訳書の余白に挿入するか、別の表紙に記載してください。）

ア　提出年月日（※ 開札日ではありません。作成日を記載してください。）

イ　入札（見積）者の所在地、商号又は名称、代表者の職氏名

※「代表者」には継続して委任を受けている支店長・営業所長等を含みます。

ウ　その工事費内訳書の内容について回答ができる者の所属・氏名及び連絡先電話番号

エ　工事名及び工事場所

オ　工事費の内訳

※所定のレベル（明細）まで必要です。３⑵参照のこと。

⑵　工事費の内訳の明細はここまで必要です。

工事費の内訳は、一番上位の項目から**第３段階のレベル（明細）まで（下のア、イの①～③）必要**です。その工事に係る設計書（金抜き）の各項目に対応した項目名、単位、数量及び金額を記載してください。

具体的には次のとおりです。

ア　土木関係工事（水道事業実務必携又は土木工事積算基準によるもの）

① 工事区分（第１段階のレベル）

② 工　種　（第２段階のレベル）

③ 種　別　（第３段階のレベル・・・明細書）

イ　建築関係工事（公共建築工事積算基準によるもの）

① 種　目（第１段階のレベル）

② 科　目（第２段階のレベル）

③ 中科目（第３段階のレベル）

ウ　その他の工事（その他の積算基準によるもの）

工事の種類に応じ、ア又はイに準じて作成してください。この場合であっても、記載する項目のレベルは、一番上位の項目から**第３段階まで**とします。

ただし、特に必要がある場合は、工事担当課が別途指示します。

作成に当たり不明な点がある場合は、必ず**事前に工事担当課に確認**をしてください。
所定のレベルまで記載がない場合、その入札（見積）は無効となります。

工事費内訳書の所定のレベルについては、入札後資格確認型の一般競争入札では「設計図等をダウンロードされた方へ」において次のように必要な箇所が記載されています。
（※次の記載は、土木関係工事の例になります。）

設計図等をダウンロードされた方へ

広島市水道局○○部○○課

工事名：○○○○○○○○○○○○○工事	公告日：令和○年○○月○○日

略

３　工事費内訳書に記載しなければならないもの（レベル）は次のとおりです。

上記１①の設計書又は公開数量書のうち、
エクセルシートの「内訳表」及び「明細書」（種別まで記載したもの）

⑶　様式は次のとおりです。

用紙サイズはＡ４（**縦・横自由**）とし、その工事の設計書（金抜き）の項目に対応させて作成してください。

なお、巻末に各工事の事例を記載していますので、参考にしてください。

・様式１－１～１－４ … 土木関係工事

・様式２－１～２－３ … 下水道用設計標準歩掛表 第２巻 ポンプ場・処理場（令和○○年度版）ポンプ処理場施設（電気設備）編を適用している工事

・様式３－１～３－３ … 下水道用設計標準歩掛表 第２巻 ポンプ場・処理場（令和○○年度版）ポンプ処理場施設（機械設備）編を適用している工事

４　工事費内訳明細書、工事費積算書も作成してください。

上記３で作成した工事費内訳書のほか、工事費内訳明細書及び工事費積算書（別記《参考》「工事費内訳書等について」を参照）も別途作成する必要があります。

⑴　工事費内訳明細書は、工事費内訳書より**１段階下のレベル（明細）まで必要**です（一番上位の項目から**第４段階のレベル（明細）まで記載**してください。）。その工事に係る設計書（金抜き）の各項目に対応した項目名、単位、数量及び金額を記載してください。なお、本局の設計書（金抜き）がそのレベルまで作成していない場合は、作成されているレベルまで記載してください。

工事費内訳明細書は、次の場合に提出する必要があります。

ア　調査基準価格を設定した工事において、調査基準価格を下回る金額での入札となった場合に、開札日（落札候補者決定の日）の翌日から起算して５日（広島市の休日は含まない。）後の午後５時までに低入札価格調査報告書に添付して提出する必要があります。

イ　指名競争入札で、調査基準価格を設定した工事において調査基準価格を下回る金額での入札となった場合に、開札日（落札候補者決定の日）の翌日から起算して５日（広島市の休日は含まない。）後の午後５時まで低入札価格調査報告書に添付して提出する必要があります。

⑵　工事費積算書は、工事費内訳明細書に記載すべき内容に加え、その工事の設計書（金抜き）の全ての明細に対応させて必ず作成してください。談合情報が寄せられた場合は、工事費積算書の提出を求めます。また、低入札価格調査時には、提出を求めることがあります。この場合、指定した期限までに提出してください。

※　見積合わせは、低入札価格調査の対象外です。

調査基準価格を下回る金額での入札をしたことが明らかとなった場合は、「低入札価格調査報告書作成要領」（ホームページに掲載しています。）もよく読んで書類作成してください。

５　工事費内訳書・工事費内訳明細書の作成に当たっては、次の点に注意してください。

⑴　「出精値引　△○，○○○円」、「端数処理　△○○○円」などのような経費の根拠が不明確となる記載はしないこと。

⑵　別記に掲げる無効事由に該当する場合は、入札を無効とします。

⑶　談合情報が寄せられた場合は、提出された工事費内訳書及び工事費内訳明細書（以下「工事費内訳書等」という。）を公正取引委員会及び警察に提出することがあります。

⑷　提出された工事費内訳書等は返却しません。

⑸　当該工事の設計書（金抜き）が、予算の都合上、直接工事費等において、補助・単独・起債などに分けられている場合、共通仮設費・現場管理費・一般管理費など率計上する経費については、補助・単独・起債ごとの内訳は必ずしも作成する必要はありません。（工事費内訳書等において、合計分の計上は当然必要です。また、予算別に分けて工事費内訳書等を作成してもかまいません。）

⑹　**作成した工事費内訳書等は、提出する前に記載した項目名、単位、数量及び金額を確認し、必ず検算を行うこと。**

（令和７年４月）

別　記

工事費内訳書又は工事費内訳明細書が次表の無効事由に該当するときは、その入札を無効とする。

無効事由	備　　考
記名がないもの	共同企業体であるのに共同企業体の記名がなく、代表者単体の記名となっている場合を含む。
工事名がないもの	
工事名が誤っているもの	工事名の一部に誤りがあるが、当該工事の工事費内訳書であることが特定できる場合を除く。
別工事の工事費内訳書であるもの	
他の入札参加者から入手した工事費内訳書を使用しているもの	
工事費内訳書を提出しないもの	
工事費内訳明細書を提出すべき場合において工事費内訳明細書を提出しないもの	
工事費内訳書が所定のレベルまで記載されていないもの	「所定のレベルまで記載されていない」とは、第１段階のレベルから第２段階のレベルまでの記載はあるものの、第３段階のレベルの記載が全くないものをいう。
工事費内訳明細書が所定のレベルまで記載されていないもの	「所定のレベルまで記載されていない」とは、第１段階のレベルから第３段階のレベルまでの記載はあるものの、第４段階のレベルの記載が全くないものをいう。
工事費内訳書の工事費合計金額（工事価格（税抜））が入札書記載金額と異なるもの	ただし、工事費内訳書の工事費合計金額（工事価格（税抜））の千円未満の端数を切り捨てた額を入札書記載金額としている場合は無効としない。したがって、金額の相違が千円未満であっても端数切捨てでない場合、切捨て以外の端数整理、税込みと税抜きの誤記等は無効となる。 工事費内訳書の工事費合計金額（工事価格（税抜））とは、内訳書及び明細書に記載の各項目に対応する金額を足して得た額をいう。したがって、内訳書又は明細書に計算誤りがあり、この誤りを正せば工事費内訳書の工事費合計金額（工事価格（税抜））と入札書に記載の金額と異なる額となる場合は、無効とする。
「値引き」等の記載があるもの また、記載はないが金額欄で端数処理しているもの	「出精値引　△○，○○○円」、「端数処理　△○○○円」などのような経費の根拠が不明確となる記載がある場合は無効とする。また、記載はないが金額欄で端数処理しているものは無効とする。
消費税等相当額の税率が異なるもの	消費税等相当額の税率が、適用されるべき税率と異なっている。
電子ファイルがウィルスに感染していたもの又はファイル名に「．ｅｘｅ」という拡張子が付くＥＸＥファイルのもの	

（令和７年４月）

《参考》

工事費内訳書等について

種　　別	説　　明
工事費内訳書	当該工事の設計書（金抜き）の各項目に対応させて、一番上位の項目から第３段階のレベルまで作成する。 入札（見積）時に提出する。
工事費内訳明細書	当該工事の設計書（金抜き）の各項目に対応させて、一番上位の項目から第４段階のレベルまで作成する。 調査基準価格を下回る入札となった場合に低入札価格調査報告書の一部として提出する。
工事費積算書	当該工事の設計書（金抜き）のすべての明細に対応させて作成する。 低入札価格調査時に求められた場合に提出する。 談合情報が寄せられた場合等に提出する。

※　「提出する」とは、持参あるいは電子入札システムによる送付のことを言う。

（令和７年４月）

様式１－１（土木関係工事の事例）

令和　　年　　月　　日

広島市水道事業管理者

所　在　地 商号又は名称 代表者職氏名 回答できる者の氏名 及び連絡先　　（　　）　　－　　（内）

工　事　費　内　訳　書

≪注意≫
内訳は必ず**種別（レベル３）**まで記載すること。記載していないものは**無効とします。**

工　事　名

工 事 場 所

工事区分・工種・種別	数　量	単　位	単　価	金　額	摘　　要
管布設工事　100mm　GXLDCP				xx,xxx,xxx	
本管工				xx,xxx,xxx	
作業土工	1	式		x,xxx,xxx	第 0001 号 明細書
管据付工	1	式		x,xxx,xxx	第 0002 号 明細書
舗装工	1	式		x,xxx,xxx	第 0003 号 明細書
土留工	1	式		x,xxx,xxx	第 0004 号 明細書
支給材				---	直接工事費に含めない
管布設工事				---	
100mm　GXLDCP	1	式		---	第 0005 号 明細書
直接工事費計				xx,xxx,xxx	
共通仮設費計				x,xxx,xxx	
共通仮設費(積分)				x,xxx,xxx	
運搬費	1	式		x,xxx,xxx	第 9001 号 明細書
準備費	1	式		x,xxx,xxx	第 9002 号 明細書
役務費	1	式		x,xxx,xxx	第 9003 号 明細書
共通仮設費(率分)	1	式		x,xxx,xxx	
純工事費				xx,xxx,xxx	

≪注意≫支給材の金額は、直接工事費に含めないため、金額入力の必要はありません。

（令和７年４月）

費目・工事区分・工種・種別	数　量	単　位	単　価	金　額	摘　　要
現場管理費	1	式			
工事原価					
一般管理費等	1	式			
(内数)契約保証費	1	式			
工事価格					(工)
消費税等相当額(工)	1	式			
本工事費計					

≪注意≫
「出精値引　△○○○円」のような
記載はしないこと。

様式１－２（土木関係工事の事例）　　レベル３

これは明細書の例です。
これはレベル３です。

第 0001 号　　明細書　　管布設工事　100ｍｍ　GXLDCP
作業土工

名　　称	数　量	単位	単　価	金　額	摘　要
機械掘削工	○○	m3	xxx,xxx	x,xxx,xxx	
機械埋戻し	○○	m3	xxx,xxx	x,xxx,xxx	
合　計				x,xxx,xxx	

第 0002 号　　明細書　　管布設工事　100ｍｍ　GXLDCP
管据付工

名　　称	数　量	単位	単　価	金　額	摘　要
管吊込み据付	○○	m	xxx,xxx	x,xxx,xxx	
管継手	○○	口	xxx,xxx	x,xxx,xxx	
管切断	○○	箇所	xxx,xxx	x,xxx,xxx	
仕切弁室築造 100ｍｍ	○○	箇所	xxx,xxx	x,xxx,xxx	第SA0001号特殊代価表
合　計				x,xxx,xxx	

第 0003 号　　明細書　　管布設工事　100ｍｍ　GXLDCP
舗装工

名　　称	数　量	単位	単　価	金　額	摘　要
舗装版切断	○○	m	xxx,xxx	x,xxx,xxx	第0100号代価表
舗装版破砕工	○○	m2	xxx,xxx	x,xxx,xxx	
合　計				x,xxx,xxx	

第 0004 号　　明細書　　管布設工事　100ｍｍ　GXLDCP
土留工

名　　称	数　量	単位	単　価	金　額	摘　要
土留	1	式		x,xxx,xxx	第AMA0001号明細書
				x,xxx,xxx	
合　計				x,xxx,xxx	

≪注意≫支給材の単価と金額は、直接工事費に含めないため、金額入力の必要はありません。

第 0005 号　　明細書　　支給材
管布設工事　100ｍｍ　GXLDCP

名　　称	数　量	単位	単　価	金　額	摘　要
ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	○○	本	---	---	管材費
GX型　曲管	○○	個	---	---	管材費
ボックス・土留	○○	個	---	---	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	○○	m	---	---	
合　計				---	
（内数）管材費				---	

第 9001 号　　明細書　　運搬費

名　　称	数　量	単位	単　価	金　額	摘　要
仮設材運搬費	1	式		x,xxx,xxx	
合　計				x,xxx,xxx	

第 9002 号　　明細書　　準備費

名　　称	数　量	単位	単　価	金　額	摘　要
試掘工	1	式		x,xxx,xxx	第AMA0002号明細書
合　計				x,xxx,xxx	

第 9003 号　　明細書　　役務費

名　　称	数　量	単位	単　価	金　額	摘　要
建設副産物仮置場 J01=借地面積 xxxm2,J02=借地月数 x 月	1	式		x,xxx,xxx	
材料置場 J01=借地面積 xxxm2,J02=借地月数 x.x 月	1	式		x,xxx,xxx	
合　計				x,xxx,xxx	

（令和７年４月）

様式１－３（土木関係工事の事例）　　レベル４

これは下位明細書（AMAで始まる明細書）の例です。
これはレベル４です。

第 AMA0001 号　明細書 土留

名　　称	数　量	単位	単　価	金　額	摘　要
軽量鋼矢板建込引抜工	○	m	xxx, xxx	x, xxx, xxx	
支保材料設置撤去	○	m	xxx, xxx	x, xxx, xxx	
軽量金属製支保材賃料	○	現場	xxx, xxx	x, xxx, xxx	
合　計				x, xxx, xxx	

第 AMA0002 号　明細書 試掘工

名　　称	数　量	単位	単　価	金　額	摘　要
舗装版切断	○	m	xxx, xxx	x, xxx, xxx	
舗装版破砕工	○	m2	xxx, xxx	x, xxx, xxx	
人力掘削	○	m3	xxx, xxx	x, xxx, xxx	
合　計				x, xxx, xxx	

≪注意≫
工事費内訳明細書の場合には、
このレベル４が必要です。

様式１－３（土木関係工事の事例）　　レベル４

これは特殊代価表（SAで始まる代価表）の例です。
これはレベル４です。

第 SA0001 号　　特殊代価表　仕切弁室築造　100ｍｍ　　10　箇所　当り

名　称	数　量	単位	単　価	金　額	摘　要
ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁室築造工 J01=100mm, J02=H=0.80m	10	箇所	xxx,xxx	x,xxx,xxx	
土留側設置工（人力） J01=土留側φ250	10	箇所	xxx,xxx	x,xxx,xxx	
合　計				x,xxx,xxx	
	1	箇所		x,xxx,xxx	円/箇所

≪注意≫
工事費内訳明細書の場合には、
このレベル４が必要です。

様式１－４（土木関係工事の事例）

第 0100 号　代価表　　舗装版切断　　100　m　当り

名　　称	数　量	単位	単　価	金　額	摘　要
施工パッケージ	100	m	xxx, xxx	x, xxx, xxx	
合計				x, xxx, xxx	
	1	m		x, xxx, xxx	

条　件　名　称	入　力　値	条　件　値
J01　舗装版種別	1	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版
J02　ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚	1	15cm以下

≪注意≫
代価表については、工事費内訳書、工事費内訳明細書の提出時には不要です。
工事費積算書の提出を求められた場合は、提出が必要です。

（令和７年４月）

金額の積み上げ方については、この表の摘要欄をよく確認すること。

様式２－１（電気設備工事の事例）

※下水道用設計標準歩掛表　第２巻　ポンプ場・処理場（令和〇〇年度版）ポンプ処理場施設（電気設備）編を適用している工事

≪注意≫
内訳書は必ず種別（レベル３）まで記載すること。記載してないものは無効とします。

内　　訳　　表

（上段：前　回　下段：今　回）

費目 ・ 工事区分 ・ 工種 ・ 種別	数　量	単　位	単　価	金　額	摘　要
本工事費					
電気設備工事					
機器費					
① 機器費	1	式		x，x x x，x x x	第 0001 号 明細書　①
直接工事費					
輸送費 ②	1	式		x x x，x x x	第 0002 号 明細書　②
材料費計 ③	1	式		x x x，x x x	A＋B＝ ③
材料費（直接材料費）	1	式		x x x，x x x	第 0003 号 明細書　A
補助材料費	1	式		x x，x x x	B
労務費計 ④	複合工費を含めないでください。 1	式		x x x，x x x	C＋D＋E＝ ④
一般労務費	1	式		x x x，x x x	第 0004 号 明細書　C
技術労務費（機器等）	1	式		x x x，x x x	第 0005 号 明細書　D
技術労務費（単体調整）	1	式		x x x，x x x	第 0006 号 明細書　E
複合工費 ⑤	1	式		x x，x x x	第 0007 号 明細書　⑤
直接経費計 ⑥	1	式		x，x x x，x x x	Σ （F…K） ＝ ⑥
特許使用料	1	式		x，x x x	第 0008 号 明細書　F
水道光熱電力量	1	式		x，x x x	第 0009 号 明細書　G
機械経費	1	式		x，x x x	第 0010 号 明細書　H
機械経費（率分）	1	式		x，x x x	I
総合試運転費	1	式		x，x x x，x x x	J
特別経費	1	式		x，x x x	第 0011 号 明細書　K
仮設費計 ⑦	1	式		x x x，x x x	L＋M＝ ⑦
仮設費	1	式		x x，x x x	第 0012 号 明細書　L
仮設費（率分）	1	式		x x，x x x	M
直接工事費計 ⑧ ②+③+④+⑤+⑥+⑦	機器費を含めないでください。 1	式		x，x x x，x x x	Σ （②…⑦） ＝ ⑧

内　　訳　　表

（上段：前　回　下段：今　回）

費目 ・ 工事区分 ・ 工種 ・ 種別	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
間接工事費					
運搬費	1	式		x，x x x	第 0013 号 明細書　a
準備費	1	式		x，x x x	第 0014 号 明細書　b
事業損失防止施設費	1	式		x，x x x	第 0015 号 明細書　c
安全費	1	式		x，x x x	第 0016 号 明細書　d
役務費	1	式		x，x x x	第 0017 号 明細書　e
技術管理費	1	式		x，x x x	第 0018 号 明細書　f
営繕費	1	式		x，x x x	第 0019 号 明細書　g
共通仮設費（率分）	1	式		x x x，x x x	h
現場管理費	1	式		x，x x x，x x x	i
据付間接費計	据付(技術者)間接費と据付(機器)間接費の合計です。			x x x，x x x	N＋O＝ j
据付(技術者)間接費	1	式		x x x，x x x	N
据付(機器)間接費	1	式		x x x，x x x	O
⑨ 間接工事費計	1	式		x，x x x，x x x	Σ（a … j）＝ ⑨
⑩ 据付工事原価 ⑧＋⑨	機器費を含めないでください。 1	式		x，x x x，x x x	⑧＋⑨＝ ⑩
⑪ 設計技術費	1	式		x x x，x x x	⑪
⑫ 工事原価 ⑩＋⑪	機器費を含めないでください。 1	式		x，x x x，x x x	⑩＋⑪＝ ⑫
⑬ 一般管理費等	1	式		x x x，x x x	⑬
(内数)契約保証費	一般管理費に含まれる金額です。２重計上に注意してください。			x，x x x	
⑭ 工事負担金	1	式		x x，x x x	第 0020 号 明細書　⑭
⑮ 電気設備工事価格 ①＋⑫＋⑬＋⑭	1	式		x x，x x x，x x x	①＋⑫＋⑬＋⑭＝ ⑮
工事価格	1	式		x x，x x x，x x x	⑮
消費税及び地方消費税相当額(工)	1	式		x x x，x x x	⑯
工事費計	1	式		x x，x x x，x x x	⑮＋⑯

様式２－２（電気設備工事の事例）　　**レベル３**

※下水道用設計標準歩掛表　第２巻　ポンプ場・処理場（令和○○年度版）ポンプ処理場施設（電気設備）編を適用している工事

これは明細書の例です。
これはレベル３です。

第 0001 号 明細書　　1 式

機器費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
○○○盤					
	○○	面	x,xxx,xxx	x,xxx,xxx	
○○○装置					
	○○	台	x,xxx,xxx	x,xxx,xxx	
合計			x,xxx,xxx	x,xxx,xxx	

第 0002 号 明細書　　1 式

運搬費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
機器搬入費					
	1	式		xx,xxx	
合計			xx,xxx	xx,xxx	

第 0003 号 明細書　　1 式

材料費（直接材料費）

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
電線管類					第AMA0001号明細書
	1	式		xx,xxx	
ケーブル類					第AMA0002号明細書
	1	式		xx,xxx	
合計			xxx,xxx	xxx,xxx	

第 0004 号 明細書　　1 式

一般労務費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
電工					
	○○	人	xx,xxx	xxx,xxx	
普通作業員					
	○○	人	xx,xxx	xx,xxx	
合計			xxx,xxx	xxx,xxx	

第 0005 号 明細書　　1 式

技術労務費（機器等）

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
技術者					
	○○	人	xx,xxx	xxx,xxx	
合計			xxx,xxx	xxx,xxx	

第 0006 号 明細書　　1 式

技術労務費（単体調整）

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
技術者					
	○○	人	xx,xxx	xxx,xxx	
合計			xxx,xxx	xxx,xxx	

（令和７年４月）

第 0007 号 明細書　　1 式

複合工費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
機械掘削					
	○○	m3	ｘ，ｘｘｘ	ｘｘ，ｘｘｘ	
機械埋め戻し					
	○○	m3	ｘ，ｘｘｘ	ｘｘ，ｘｘｘ	
合計			ｘｘｘ，ｘｘｘ	ｘｘ，ｘｘｘ	

第 0008 号 明細書　　1 式

特許使用料

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
○○○○○					
	1	式	ｘ，ｘｘｘ	ｘｘ，ｘｘｘ	
合計			ｘ，ｘｘｘ	ｘ，ｘｘｘ	

第 0009 号 明細書　　1 式

水道光熱電力量

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
電力使用量					
	1	式	ｘ，ｘｘｘ	ｘ，ｘｘｘ	
合計			ｘ，ｘｘｘ	ｘ，ｘｘｘ	

第 0010 号 明細書　　1 式

機械経費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
トラッククレーン賃料					
	○○	日	ｘ，ｘｘｘ	ｘ，ｘｘｘ	
合計			ｘ，ｘｘｘ	ｘ，ｘｘｘ	

第 0011 号 明細書　　1 式

特別経費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
○○○○○					
	1	式	ｘ，ｘｘｘ	ｘ，ｘｘｘ	
合計			ｘ，ｘｘｘ	ｘ，ｘｘｘ	

第 0012 号 明細書　　1 式

仮設費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
作業用仮組足場					
	○○	日	ｘｘ，ｘｘｘ	ｘｘ，ｘｘｘ	
合計			ｘｘ，ｘｘｘ	ｘｘ，ｘｘｘ	

第 0013 号 明細書　　1 式

運搬費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
作業用仮組足場運搬費					
	1	式		ｘｘ，ｘｘｘ	
合計				ｘｘ，ｘｘｘ	

第 0014 号 明細書　　1 式

準備費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
建設発生土処分費					
	○○	m3	x，x x x	x，x x x	
建設発生土運搬費					
	○○	m3	x，x x x	x，x x x	
合計			x，x x x	x，x x x	

第 0015 号 明細書　　1 式

事業損失防止施設費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
○○○○○					
	1	式	x，x x x	x x，x x x	
合計			x，x x x	x x，x x x	

第 0016 号 明細書　　1 式

安全費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
交通誘導員					
		人	x，x x x	x x，x x x	
合計			x，x x x	x x，x x x	

第 0017 号 明細書　　1 式

役務費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
電力基本料金					
	1	式		x，x x x	
合計				x，x x x	

第 0018 号 明細書　　1 式

技術管理費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
○○○○○					
	1	式		x，x x x	
合計				x，x x x	

第 0019 号 明細書　　1 式

営繕費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
監督員詰所					
	1	式		x，x x x	
合計				x，x x x	

第 0020 号 明細書　　1 式

工事負担金

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
取引計器移設費					
	1	式		x x，x x x	
合計				x x，x x x	

様式２－３（電気設備工事の事例）　　**レベル４**

※下水道用設計標準歩掛表　第２巻　ポンプ場・処理場（令和○○年度版）ポンプ処理場施設（電気設備）編を適用している工事

これは下位明細書（AMAで始まる明細書）の例です。
これはレベル４です。

第 AMA0001 号 明細書　　1 式

電線管類

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
薄鋼電線管　（２５）					
	○○	m	ｘｘｘ	ｘｘ，ｘｘｘ	
薄鋼電線管　（５１）					
	○○	m	ｘｘｘ	ｘ，ｘｘｘ	
厚鋼電線管　（３６）					
	○○	m	ｘｘｘ	ｘ，ｘｘｘ	
電線管付属材料					
	1	式		ｘｘ，ｘｘｘ	
合計			ｘｘ，ｘｘｘ	ｘｘ，ｘｘｘ	

第 AMA0002 号 明細書　　1 式

ケーブル類

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
ＥＭ－ＣＥケーブル					
３．５ｍｍ2－２Ｃ	○○	m	ｘｘｘ	ｘｘ，ｘｘｘ	
ＥＭ－ＣＥＥケーブル					
１．２５ｍｍ2－２０Ｃ	○○	m	ｘｘｘ	ｘ，ｘｘｘ	
ＥＭ－ＣＥＥ－Ｓケーブル					
１．２５ｍｍ2－８Ｃ	○○	m	ｘｘｘ	ｘ，ｘｘｘ	
ケーブル類付属材料					
				ｘｘｘ	
合計			ｘｘ，ｘｘｘ	ｘｘ，ｘｘｘ	

≪注意≫
工事費内訳明細書の場合には、
このレベル4が必要です。

（令和７年４月）

金額の積み上げ方については、この表の摘要欄をよく確認すること。

様式３－１（機械設備工事の事例）

※下水道用設計標準歩掛表 第２巻 ポンプ場・処理場（令和〇〇年度版）ポンプ処理場施設（機械設備）編を適用している工事

≪注意≫
内訳書は必ず種別（レベル３）まで記載すること。
記載してないものは無効とします。

内　　訳　　表

（上段：前　回　下段：今　回）

費目・工事区分・工種・種別	数量	単位	単価	金額	摘要
本工事費					
機械設備工事					
機器費					
① 機器費	1	式	x,xxx,xxx	x,xxx,xxx	第 0001 号 明細書 ①
直接工事費					
輸送費 ②	1	式		xxx,xxx	第 0002 号 明細書 ②
材料費計 ③	1	式		xxx,xxx	A＋B＝ ③
材料費（直接材料費）	1	式	xxx,xxx	xxx,xxx	第 0003 号 明細書 A
補助材料費	1	式	xxx,xxx	xxx,xxx	B
労務費計 ④	1	式		xxx,xxx	C＋D＝ ④
一般労務費	1	式	xxx,xxx	xxx,xxx	第 0004 号 明細書 C
機械設備据付労務費	1	式	xxx,xxx	xxx,xxx	第 0005 号 明細書 D
複合工費 ⑤	1	式	xx,xxx	xx,xxx	第 0006 号 明細書 ⑤
直接経費計 ⑥	1	式		x,xxx,xxx	Σ（E…J）＝ ⑥
特許使用料	1	式	x,xxx	x,xxx	第 0007 号 明細書 E
水道光熱電力量	1	式	x,xxx	x,xxx	第 0008 号 明細書 F
機械経費	1	式	x,xxx	x,xxx	第 0009 号 明細書 G
機械経費（率分）	1	式	x,xxx	x,xxx	H
総合試運転費	1	式	x,xxx	x,xxx	I
特別経費	1	式	x,xxx	x,xxx	第 0010 号 明細書 J
仮設費計 ⑦	1	式		xxx,xxx	K＋L＝ ⑦
仮設費	1	式	xx,xxx	xx,xxx	第 0011 号 明細書 K
仮設費（率分）	1	式	xx,xxx	xx,xxx	L

複合工費を含めないでください。

（令和７年４月）

内　　訳　　表

（上段：前　回　下段：今　回）

費目 ・ 工事区分 ・ 工種 ・ 種別	数　量	単　位	単　価	金　額	摘　要
直接工事費計 ⑧ ②＋③＋④＋⑤＋⑥＋⑦	機器費を含めないでください。 1	式		x，x x x，x x x	Σ（②…⑦）＝⑧
間接工事費					
運搬費	1	式	x，x x x	x，x x x	第 0012 号 明細書　a
準備費	1	式	x，x x x	x，x x x	第 0013 号 明細書　b
事業損失防止施設費	1	式	x，x x x	x，x x x	第 0014 号 明細書　c
安全費	1	式	x，x x x	x，x x x	第 0015 号 明細書　d
役務費	1	式	x，x x x	x，x x x	第 0016 号 明細書　e
技術管理費	1	式	x，x x x	x，x x x	第 0017 号 明細書　f
営繕費	1	式	x，x x x	x，x x x	第 0018 号 明細書　g
共通仮設費（率分）	1	式	x x x，x x x	x x x，x x x	h
現場管理費	1	式	x，x x x，x x x	x，x x x，x x x	i
据付間接費	1	式		x x x，x x x	j
間接工事費計 ⑨	1	式		x，x x x，x x x	Σ（a … j）＝⑨
据付工事原価 ⑩ ⑧＋⑨	機器費を含めないでください。 1	式		x，x x x，x x x	⑧＋⑨＝⑩
設計技術費 ⑪	1	式		x x x，x x x	⑪
工事原価 ⑫ ①＋⑩＋⑪	1	式		x x，x x x，x x x	①＋⑩＋⑪＝⑫
一般管理費等	1	式		x，x x x，x x x	⑬
(内数)契約保証費	一般管理費に含まれる金額です。２重計上に注意してください。			x，x x x	
機械設備工事価格	1	式		x x，x x x，x x x	⑫＋⑬＝⑭
工事価格	1	式		x x，x x x，x x x	⑭
消費税及び地方消費税相当額(工)	1	式		x x x，x x x	⑮
工事費計	1	式		x x，x x x，x x x	⑭＋⑮＝⑯

≪注意≫
「出精値引　△○○○円」のような記載はしないこと。

（令和７年４月）

様式３－２（機械設備工事の事例）　　**レベル３**

※下水道用設計標準歩掛表 第２巻 ポンプ場・処理場（令和〇〇年度版）ポンプ処理場施設（機械設備）編を適用している工事

これは明細書の例です。
これはレベル３です。

第 0001 号 明細書　　1 式

機器費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　称	数　量	単　位	単　価	金　額	摘　要
〇〇〇ポンプ					
	〇〇	台	x，x x x，x x x	x，x x x，x x x	
〇〇〇装置					
	〇〇	台	x，x x x，x x x	x，x x x，x x x	
合計			x，x x x，x x x	x，x x x，x x x	

第 0002 号 明細書　　1 式

輸送費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　称	数　量	単　位	単　価	金　額	摘　要
機器運搬費					
	1	式		x x x，x x x	
合計				x x x，x x x	

第 0003 号 明細書　　1 式

材料費（直接材料費）

（上段：前　回　下段：今　回）

名　称	数　量	単　位	単　価	金　額	摘　要
管弁類					第AMA0001号明細書
	1	式		x x，x x x	
計器類					第AMA0002号明細書
	1	式		x x，x x x	
合計			x x x，x x x	x x x，x x x	

第 0004 号 明細書　　1 式

一般労務費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　称	数　量	単　位	単　価	金　額	摘　要
配管工					
	〇〇	人	x x，x x x	x x x，x x x	
普通作業員					
	〇〇	人	x x，x x x	x x，x x x	
合計			x x x，x x x	x x x，x x x	

第 0005 号 明細書　　1 式

機械設備据付労務費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　称	数　量	単　位	単　価	金　額	摘　要
機械設備据付工					
	〇〇	人	x x，x x x	x x x，x x x	
合計			x x x，x x x	x x x，x x x	

第 0006 号 明細書　　1 式

複合工費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　称	数　量	単　位	単　価	金　額	摘　要
掘削・埋戻し					
	〇〇	m3	x，x x x	x x，x x x	
塗装工					
	〇〇	m3	x，x x x	x x，x x x	
合計			x x x，x x x	x x，x x x	

第 0007 号 明細書　　1 式

特許使用料

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
○○○○○					
	1	式		x，x x x	
合計				x，x x x	

第 0008 号 明細書　　1 式

水道光熱電力量

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
電力使用量					
	1	式	x，x x x	x，x x x	
合計			x，x x x	x，x x x	

第 0009 号 明細書　　1 式

機械経費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
トラッククレーン賃料					
	○○	日	x，x x x	x，x x x	
合計			x，x x x	x，x x x	

第 0010 号 明細書　　1 式

特別経費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
○○○○○					
	1	式		x，x x x	
合計				x，x x x	

第 0011 号 明細書　　1 式

仮設費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
作業用仮組足場					
	○○	日	x x，x x x	x x，x x x	
水替え排水ポンプ					
	○○	日	x，x x x	x，x x x	
合計			x x，x x x	x x，x x x	

第 0012 号 明細書　　1 式

運搬費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
仮設材運搬					
	○○	日	x，x x x	x，x x x	
合計			x，x x x	x，x x x	

第 0013 号 明細書　　1 式

準備費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
産業廃棄物処分費					
	○○	m3	x，x x x	x，x x x	
産業廃棄物運搬費					
	○○	m3	x，x x x	x，x x x	
合計			x，x x x	x，x x x	

第 0014 号 明細書　　1 式

事業損失防止施設費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
○○○○○					
	1	式		x，x x x	
合計				x，x x x	

第 0015 号 明細書　　1 式

安全費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
交通誘導員					
	○○	人	x，x x x	x，x x x	
合計			x，x x x	x，x x x	

第 0016 号 明細書　　1 式

役務費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
電力基本料金					
	1	式		x，x x x	
合計				x，x x x	

第 0017 号 明細書　　1 式

技術管理費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
○○○○○					
	1	式		x，x x x	
合計				x，x x x	

第 0018 号 明細書　　1 式

営繕費

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
監督員詰所					
	1	式		x，x x x	
合計				x，x x x	

様式３－３（機械設備工事の事例）　　**レベル４**

※下水道用設計標準歩掛表 第２巻 ポンプ場・処理場（令和○○年度版）ポンプ処理場施設（機械設備）編を適用している工事

これは下位明細書（AMAで始まる明細書）の例です。
これはレベル４です。

第 AMA0001 号 明細書　　1 式

管弁類

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
耐衝撃性ポリ塩化ビニル管					
HIVP 25	○○	m	ｘｘｘ	ｘ，ｘｘｘ	
耐衝撃性ポリ塩化ビニル管					
HIVP 20	○○	m	ｘｘｘ	ｘ，ｘｘｘ	
塩ビライニング鋼管					
SGP-VB 25 ねじ接合	○○	m	ｘｘｘ	ｘ，ｘｘｘ	
排水・硬質ポリ塩化ビニル管					
VP 100	○○	m	ｘｘｘ	ｘ，ｘｘｘ	
排水・硬質ポリ塩化ビニル管					
VP 50	○○	m	ｘｘｘ	ｘ，ｘｘｘ	
玉形弁					
25A	○○	個	ｘ，ｘｘｘ	ｘｘ，ｘｘｘ	
合計				ｘｘ，ｘｘｘ	

第 AMA0002 号 明細書　　1 式

計器類

（上段：前　回　下段：今　回）

名　　称	数　量	単 位	単　価	金　額	摘　要
接点付圧力計					
φ150	○○	個	ｘ，ｘｘｘ	ｘｘ，ｘｘｘ	
隔膜式圧力計					
φ100	○○	個	ｘ，ｘｘｘ	ｘｘ，ｘｘｘ	
連成計					
φ100	○○	個	ｘ，ｘｘｘ	ｘｘ，ｘｘｘ	
圧力スイッチ					
	○○	個	ｘ，ｘｘｘ	ｘｘ，ｘｘｘ	
合計				ｘｘ，ｘｘｘ	

≪注意≫
工事費内訳明細書の場合には、
このレベル4が必要です。